

NPO 法人 性差医療情報ネットワーク

NAHW(New Approach to Health and Welfare)

NAHW 本部 第 18 回 研究会

日時： 2022 年(令和 4 年)6 月 4 日(土)
10:00 ~ 14:45

開催方法： Zoom

主催者： 特定非営利活動法人 性差医療情報ネットワーク

特定非営利活動法人 性差医療情報ネットワーク(NAHW)

事務局 〒177-0041 東京都練馬区石神井町 4-21-6

Fax: 03-6766-1028

Web site: <http://www.nahw.or.jp>

E-mail: admin@nahw.or.jp

内容

プログラム.....	2
講演抄録.....	3
教育講演 1「医師と患者の良好な関係をつなぐ アカデミック・ディテールとは」.....	3
教育講演 2「女性の機能性高体温症(心因性発熱)について」.....	7
性差医療情報ネットワーク研究会 18年の歩み.....	10
性差医療情報ネットワーク・東京支部 18年の歩み.....	19
性差医療情報ネットワーク・九州支部 12年の歩み.....	25

プログラム

- 10:00～10:10 開会挨拶：財団法人 野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生
総合司会：財団法人 野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生
- 10:10～11:40 **教育講演 1 「医師と患者の良好な関係をつなぐアカデミック・ディテールとは」**
司会：千葉大学 名誉教授(薬学研究院) 上野光一先生
講師：医療法人沖縄徳洲会千葉西総合病院薬剤部顧問
東京理科大学薬学部嘱託教授
一般社団法人日本アカデミック・ディテール研究会代表理事
顧問 小茂田昌代先生
- 11:45～12:55 **ランチ休憩**
- 13:00～14:30 **教育講演 2 「女性の機能性高体温症(心因性発熱)について
—新型コロナウイルス罹患後症状としての微熱も含めて—」**
司会：財団法人 野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生
講師：国際医療福祉大学成田病院 心療内科
主任教授 岡孝和先生
- 14:35～ **閉会の挨拶**：山口大学名誉教授 / 阿知須同仁病院女性総合外来
尾中病院女性外来 松田昌子先生

講演抄録

教育講演 1 「医師と患者の良好な関係をつなぐ アカデミック・ディテリングとは」

－医薬品の基礎薬学特性を臨床に活かす試み－

講師：医療法人沖縄徳洲会千葉西総合病院薬剤部顧問

東京理科大学薬学部嘱託教授

一般社団法人日本アカデミック・ディテリング研究会代表理事

小茂田 昌代 先生

「はじめに」

厚生労働省の「チーム医療の推進に関する検討会」が 2010 年 3 月にまとめた報告書では、薬剤師がチーム医療に参画し、より積極的に処方提案、バイタルサインのチェックを含む副作用モニタリング、薬学的な管理等を行うことが求められた。さらに 2013 年に日本薬剤師会より「薬剤師の将来ビジョン」が示され、薬剤師が医療チームの一員として高度な薬物治療の知識や技能 を活用し、様々な薬学や疾病の領域において、専門性を高める必要があるとされた。2019 年には薬剤師法が改正され、薬剤師は患者の継続的な薬学的管理を行うことが義務化された。2006 年、日本の薬剤師養成教育は 6 年制になり、すでに 6 年制薬剤師を輩出して 10 年が経過した。今後はさらに薬剤師の専門性を発揮した薬物治療への貢献が求められている。

「アカデミック・ディテリングとは」

アカデミック・ディテリング(AD)は、海外では約 40 年前より活動が開始され、「医師に対し、コマーシャルベースではない公正中立な医薬品情報を提供し、有効性・安全性・費用対効果を考慮した適切な臨床上の判断が行えるように、訓練を受けたアカデミック・ディテラーが行う支援活動」のことをいう。

AlosaHealth (<https://alosahealth.org/>) は 2004 年に米国で設立され、創設者 Dr. Jerry Avorn は、プライマリケア医の処方慣行を最適化する方法として AD の概念を開拓した。The National Resource Center for Academic Detailing (NaRCAD <https://www.narcad.org/>)は、2010 年に設立され、臨床に成果をもたらす教育を行う米国唯一の全国的な技術支援および能力開発センターであり、アカデミック・ディテラーのトレーニングが行われている。

豪州では 1991 年に AD プログラムが開始され、1998 年に National Prescribing Service(NPS) Limited が設立された。NPS MedicineWise (<https://www.nps.org.au/>) は毎年、全国の一般診療で 25,000 以上の AD 訪問を提供し、20 年で 1 億 9662 万豪ドルの節約が実証されたと報告している。

「日本版アカデミック・ディテリングの特徴」

日本では、近年、科学的根拠に基づくガイドライン策定が活発化し、多くの薬物治療に関連するガイドラインが発表され、推奨される薬物治療が示されるようになった。しかし、多くの同効薬が存在しているが、同効薬を比較した臨床試験は限られ、医薬品の費用対効果を客観的に評価する体制も確立されていない。以上の現状を鑑み、医薬品の基礎薬学的比較に注目した。そこで、同効薬について、化学構造式、薬理作用、薬物動態などの違いを比較し、患者の腎機能や肝機能障害、併用薬との相互作用を考慮することで、更なる個別化に貢献できると考えた。そして、2014 年に東京理科大学研究推進機構アカデミック・ディテリング・データベース部門(ADD 部門)を立ち上げ、日本版 AD の定義は「基礎と臨床のエビデンスを基に薬の比較情報を

能動的に発信する新たな医薬品情報提供アプローチ」とした。2017 年には、文部科学省科学研究費の助成を受け、以下の 4 つの研修からなる「アカデミック・ディテラー養成プログラム」を開始した。

I. 医薬品の基礎薬学的特性比較に焦点を当てた研修

II. AD 資料を使った処方支援研修

III. 臨床エビデンスの薬学的吟味研修

IV. 医師へのコミュニケーション研修

医師へのコミュニケーション研修は、海外の AD 研修で、最も力を入れている研修であり、薬剤師が医師のニーズに応え、信頼関係を築くコミュニケーション・スキルに焦点を当てた研修である。医師の診断を基に、推奨される薬物治療の同効薬から、患者の腎機能や肝機能の状態、併用薬の情報から、医薬品の違いを医師にわかりやすく情報提供することで、患者に最適な処方支援ができるアカデミック・ディテラーを養成している。

「最後に」

調剤は自動化が進み、薬剤師の主な役割は処方後の調剤から、処方前の処方支援へと変化が求められている。薬剤師は薬学部で多くの医薬品特性を学んでいるが、その知識が十分に現場で活用されていない現状がある。医師から更なる信頼を得て、薬物治療の個別化につながる処方支援をすることこそが今後の薬剤師の役割ではないかと考える。そして、患者にその薬を選択した理由も含めて、情報提供することで、患者のアドヒアランス向上につながる効果が期待される。

2021 年、東京理科大学 ADD 部門の活動を引き継ぐために、一般社団法人日本アカデミック・ディテリング研究会を立ち上げた。ADD 部門が輩出した 78 名のアカデミック・ディテラーが開発する「アカデミック・ディテラー養成プログラム」は更なる発展を遂げようとしている。

【略歴】

氏名：小茂田 昌代(コモダ マサヨ)

- 1978年3月 東京理科大学 薬学部卒
国立病院医療センター 臨床研究部生化学室研究生を経て、1981年4月東京女子医大
公衆衛生学教室助手
- 1989年5月 医療法人社団聖秀会 柏光陽病院薬剤科に入職し1998年10月同薬剤科長
- 2003年10月 東京理科大学 薬学部 非常勤講師
- 2007年3月 千葉大学大学院医学薬学府先進医療科学専攻博士課程修了
- 2007年4月 東京理科大学薬学部医療安全学研究室 教授
- 2011年4月 順天堂大学医学部付属順天堂医院 乳腺科非常勤講師
- 2015年4月 東京理科大学研究推進機構総合研究院アカデミック・ディテールリング・データベース研究
部門長併任
- 2017年4月 東京理科大学薬学部医療薬学教育研究支援センター
社会連携部門長併任
- 2020年3月 東京理科大学薬学部定年退職
- 2020年4月 医療法人徳洲会千葉西総合病院薬剤科顧問
東京理科大学薬学部嘱託教授
東京理科大学総合研究院アカデミック・ディテールリング・データベース部門併任
東京理科大学理窓会常務委員ダイバーシティ委員会委員長
- 2021年10月 一般社団法人日本アカデミック・ディテールリング研究会設立

【認定】

日本医療薬学会認定 医療薬学指導薬剤師

日本医薬品安全性学会認定指導者、日本医薬品安全性学会認定専門薬剤師

【代表理事】

一般社団法人日本アカデミック・ディテールリング研究会

【理事】

日本アプライドセラピューティクス学会

【監事】

一般社団法人日本医薬品安全性学会

【評議員】

一般社団法人日本乳癌学会、一般社団法人日本がんサポーターズ・ケア学会

【顧問】

日本服薬支援研究会

【学会委員】

日本がんサポーターティブ・ケア学会新規医療情報委員会副委員長

日本がんサポーターティブ・ケア学会 CINV 部会委員

日本がんサポーターティブ・ケア学会ガイドライン委員会委員

日本がんサポーターティブ・ケア学会 ePRO ワーキング委員

日本皮膚科学会疥癬診断ガイドライン策定委員

教育講演 2 「女性の機能性高体温症(心因性発熱)について」

—新型コロナウイルス罹患後症状としての微熱も含めて—

講師： 国際医療福祉大学成田病院 心療内科

主任教授 岡 孝和 先生

近年の COVID-19 パンデミックの影響で、私たちはこれまでになく体温を測るようになりました。それにともなって機能性高体温症、つまり諸検査で異常を認めない、解熱薬抵抗性の高体温に注目が集まっています。

そこでコロナ禍でよくみられる機能性高体温の病態と、私なりの治療についてお話したいと思います。

コロナ禍でよくみられる機能性高体温には(1)平熱の範疇の高体温、(2)体温の概日リズム障害を伴う高体温、(3)コロナ不安による心因性発熱、(4)COVID-19 罹患後症状としての高体温、などが挙げられます。特に COVID-19 に罹患したのではないかと不安による心因性発熱や、COVID-19 罹患後症状(long COVID)としての倦怠感、認知機能障害、体位性頻脈症候群を伴う高体温が遷延する症例は、今後、増えることが予想されます。生活指導、治療上の注意点について症例をまじえながらご紹介したいと思います。

また時間があれば、冷え症の研究に関しても言及したいと思います。

心因性発熱に御興味のある方は下記を参考にしてください。

<https://medicalnote.jp/contents/171002-001-WWW>

<https://www.terumo-taion.jp/health/stress/article03.html>

岡孝和: 心因性発熱(機能性高体温症)に対する非薬物療法と薬物療法. 心身医 2020, 60(3):234-240.

Oka T: Psychogenic fever: how psychological stress affects body temperature in the clinical population. Temperature 2015, 2(3):368-378.

【略歴】

氏名：岡 孝和(オカ タカカズ)

愛媛県出身

1985年3月 広島大学医学部卒業
1985年6月 九州大学医学部附属病院臨床研修医
1987年4月 唐津赤十字病院内科
1988年4月 国立京都病院消化器科、臨床研究医
1989年4月 九州大学医学部心療内科医員に採用
1991年4月 九州大学大学院医学研究科内科系(精神身体医学講座)
この時より九州大学医学部第一生理(現在の統合生理)で温熱生理、
脳内サイトカインの研究に従事(堀哲郎教授)
1995年3月 同 修了
1996年10月 九州大学医学部心療内科助手
1998年9月 ベスイスラエルディーコネス医療センター
およびハーバード医科大学客員助手
ハーバード医学研究所で発熱の研究に従事(Saper, CB 教授)
2002年4月 産業医科大学神経内科講師
2004年10月 産業医科大学病院メンタルヘルスセンター副部長兼任
2008年6月 九州大学大学院医学研究院心身医学 准教授
2017年4月 国際医療福祉大学医学部心療内科学 主任教授
国際医療福祉大学病院心療内科部長
2020年4月 国際医療福祉大学成田病院心療内科部長

現在に至る

【学会活動】

日本心療内科学会 理事

日本心身医学会 “Biopsychosocial Medicine”編集委員

日本疲労学会 理事

日本東洋心身医学研究会 理事、「日本東洋心身医学研究」編集長

日本内科学会、日本東洋医学会、日本神経科学会、

International Association for Chronic Fatigue Syndrome/Myalgic Encephalomyelitis, American Psychosomatic Society

【専門領域の疾患】

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群、心因性発熱、起立性調節障害、ストレス関連疾患、心身症の病態。

【主な研究テーマ】

1) 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群の病態解明と治療法の確立

・「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群診療の手引き」作成に参画(AMED 研究班, 2019 年)

2) 心因性発熱の機序解明と治療。

<https://medicalnote.jp/contents/171002-001-WW>

3) 統合医療に関するエビデンス創出(ヨガ)

厚生労働省「統合医療」に係る情報発信事業ホームページ eJIM 作成に参画

<https://www.ejim.ncgg.go.jp/public/index.html>

性差医療情報ネットワーク研究会 18年の歩み

第1回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2004年1月12日)

テーマ: 性差に優しい医療—女性外来

基調講演. ジェンダーと sex ……

放送大学教授 原ひろこ先生

女性の健康と漢方……

日本大学医学部東洋医学 木下優子先生

ホルモン補充療法について……

高知大学医学部産婦人科 若槻明彦先生

女性のライフサイクルと心の疾患……

中野総合病院精神神経科 櫻田美壽壽(さくらだみすず)先生

第2回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2005年2月20日)

テーマ: 女性専門外来の現状と方向性

女性外来による医療改革

独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター 柴田衣里先生

健康促進、疾患予防の観点からみた女性外来

千葉県野田市小張総合病院 小西明美先生

女性外来の現状と評価

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 土井卓子先生

国立病院機構 関門医療センター「女性総合診療」の臨床から

国立病院機構関門医療センター 早野智子先生

大学における性差医療の取り組み

札幌医科大学医学部 藤井美穂先生

「新しい時代の女性医療・健康管理」-産業保健の現場から

NTT 東日本東京健康管理センタ 荒木葉子先生

女性外来への期待と女性たちの求める医療

医療ジャーナリスト、更年期と加齢のヘルスケア研究会世話人 安井禮子様

第3回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2006年11月25日)

テーマ: 女性医師の勤務環境改善に向けて

無月経患者における高プロラクチン血症と下垂体腺腫

帝京大学医学部附属市原病院脳神経外科学 教授 松野彰先生

データファイリングシステムの紹介

千葉県立東金病院総合診療科 竹尾愛理先生

低温サウナの効能について

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科循環器・呼吸器・代謝内科学 教授 鄭忠和先生

パネルディスカッション「女性医師の勤務環境改善をめぐる諸問題」

第4回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2007年11月18日)

市民公開講座「女性の健康と漢方」(ホール)～

NHK ドラマ「チャングムの誓い」の監修を終えて

千葉大学大学院・医学研究院・和漢診療学 教授 寺澤捷年先生

シンポジウム:女性外来の現状と課題

女性外来におけるメンタルヘルス

鶴賀病院 轟慶子先生

データファイリングシステムにみる女性外来の特徴

千葉県立東金病院 竹尾愛理先生

第5回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2008年11月22日)

市民公開講座「女性外来へようこそ:女性のメンタルヘルス」共催

(ホール) 座長: 松田昌子先生

東京女子医科大学女性の生涯健康センター所長 教授 加茂登志子先生

特別講演ビスフェノール A がもたらす健康への脅威—

エストロゲン作用・ラットメスの早期成熟

子どもの行動異常への関与(自閉症など)・乳がんとの関連について

(ホール) 座長: 天野恵子先生

教育講演①女性と虚血性心疾患

座長: 中川幹子先生

日本医科大学千葉北総病院循環器内科 教授 清野精彦先生

教育講演②脂質異常症における性差

座長:小宮ひろみ先生

医療法人ニコークリニック 田中裕幸先生

第 6 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2009 年 12 月 6 日)

教育講演「小さく産んで大きく育てる」は間違い生活習慣病の芽

座長:小宮ひろみ先生

講師:早稲田大学胎生期エピジェネティクス制御研究所 教授 福岡秀興先生

座長:松田昌子先生

講演①男女共同参画社会と女性の健康

講師:荒木労働衛生コンサルタント事務所所長 荒木葉子先生

講演②産婦人科の過去・現在・未来

講師:カレスサッポロ時計台記念病院女性総合診療センター長 藤井美穂先生

講演③女性専用クリニック受診者対象の運動指導

講師:順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科 中嶋佳子先生

第 7 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2010 年 12 月 12 日)

教育講演①:糖尿病治療における DPP-4 阻害薬の位置づけ

座長:片井みゆき先生

講師:東京医科大学 内科学第三講座 主任教授 小田原正人先生

教育講演②:不眠症(新しい睡眠薬メラトニン系ロゼレム)

座長:中川幹子先生

講師:東京女子医科大学医学部精神医学講座 主任教授 石郷岡純先生

教育講演③:HPV ワクチンについて

座長:藤井美穂

講師:東京大学医学部付属病院 女性外科 病棟チーフ 教授 川名敬先生

第 8 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2011 年 12 月 17 日)

教育講演①:新しい抗血栓薬「ダビガトラン」

座長:赤澤純代先生

講師:財団法人心臓血管研究所 所長・附属病院長 山下武志先生

教育講演②:福島リポート「地震・津波・福島原発事故を振り返り、今後を語る」

座長:嘉川亜希子先生

講師:公立大学法人福島県立医科大学付属病院 性差医療センター部長 小宮ひろみ先生

教育講演③:女性における脂質異常症の治療

座長:天野恵子先生

講師:社会医療法人社団カレスサッポロ北光記念クリニック所長 佐久間一郎先生

第 9 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2012 年 11 月 18 日)

教育講演①:高齢者の終末期医療について

司会:清田まゆみ先生

講師:東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 教授 大内尉義先生

教育講演②:女性の健康を支えるホルモン療法

「月経困難症・月経前症候群から更年期・老年期障害まで」

司会:藤井美穂先生

講師:飯田橋レディースクリニック 院長 岡野浩哉先生

第 10 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2013 年 11 月 17 日)

教育講演①:エルデカルシトールによるラット骨組織の微細構造学的変化について

司会:藤井美穂先生

講師:北海道大学大学院歯学研究所 口腔健康科学講座 教授 網塚憲生先生

教育講演②:マクロライド抗生物質の「新作用」とは?—30 年の歴史を振り返る

司会:天野恵子先生

講師:公益財団法人結核予防会 複十字病院 院長 工藤翔二先生

教育講演③:がん治療と緩和医療の融合について

司会:清田真由美先生

講師:東邦大学医療センター佐倉病院 外科 准教授 長島誠先生

第 11 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2014 年 11 月 16 日)

教育講演①:糖尿病と性差について

司会:片井みゆき先生

講師:東京女子医科大学糖尿病センター 教授 内潟安子先生

教育講演②:女性医師としての取組み

司会:嘉川亜希子先生

講師: NAHW 理事長 天野恵子先生

教育講演③:NAHW 東京支部主催 (第 25 回学術講演会)

女性ホルモン up-to-date エクオールおよび HRT について

司会:荒木葉子先生

講師:東京医科歯科大学 名誉教授 麻生武志先生

第 12 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2015 年 11 月 1 日)

教育講演①:「女性の一生にかかわる骨・カルシウム代謝」

司会:東京女子医科大学東医療センター 性差医療部/内科 准教授 片井みゆき先生

講師:帝京大学ちば医療センター 第 3 内科学教授 岡崎亮先生

教育講演②:「認知症を知る」

司会:関東中央病院健康管理科部長 宮尾益理子先生

講師:順天堂東京江東高齢者医療センター 副院長 一宮洋介先生

教育講演③:NAHW 東京支部主催 (第 27 回学術講演会)

「アスペルガー症候群と、その対応に苦悩する家族のカサンドラ症候群について」

司会:荒木労働衛生コンサルタント事務所 荒木葉子 先生

講師:どんぐり発達クリニック 院長宮尾益知先生

第 13 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2016 年 10 月 30 日)

教育講演①:熊本地震におけるエコノミークラス症候群検診と避難所

司会: 春日クリニック 診療部 院長 清田真由美先生

講師: 熊本市民病院神経内科・地域医療連携部 リハビリテーション科 首席診療部長 橋本洋一郎先生

教育講演②:熊本大震災を学ぶ

司会: 腎愛会 上山病院 診療部 嘉川亜希子先生

講師: 春日クリニック 診療部 院長 清田真由美先生

熊本大学医学部付属病院 集中治療部 循環器内科 河野宏明先生

教育講演③:NAHW東京支部主催 (第 28 回学術講演会)

「アスタキサンチンによる先制医療の展開」

司会: 関東中央病院 健康管理科部長 宮尾益理子先生

講師: 金沢大学脳・肝インターフェースメディスン研究センター准教授 太田嗣人先生

第 14 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2017 年 10 月 29 日)

教育講演①:乳癌診療を女性放射線腫瘍医の立場から考えて

司会: 東京女子医科大学総合診療科 女性科(総合内科) 准教授 片井みゆき先生

講師: 東京女子医科大学 放射線腫瘍学講座 教授・講座主任 唐澤久美子先生

教育講演②:男性の排尿障害

司会: 千葉西総合病院 健康管理センター 小西明美先生

講師：順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学 順天堂大学医学部 泌尿器科学講座 教授 堀江重郎先生

教育講演③:女性の頻尿・尿失禁 明日から役立つ診断と治療

司会：関東中央病院 健康管理科部長 宮尾益理子先生

講師：東京女子医科大学東医療センター 骨盤底機能再建診療部 教授・診療部長 巴ひかる先生

第 15 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2018 年 11 月 4 日)

教育講演①:中国の医療事情と中薬を用いたがん治療

司会：財団法人野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生

講師：千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座 特任講師 平崎能郎先生

共催：株式会社ツムラ

教育講演②:動脈硬化性プラークのカタストロフィについて考える:血管内イメージングが紐解く動脈硬化世界と生命宇宙

司会：山口大学名誉教授/山口県女性医師キャリア・コーディネーター 松田昌子先生

講師：日本大学医学部内科学系循環器内科学分野 循環機能検査室長・診療教授 廣高史先生

第 16 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2019 年 10 月 27 日)

教育講演①:便秘診療をめぐる最近の話題

司会：春日クリニック 診療部 院長 清田真由美先生

講師：東海大学医学部医学科内科学系消化器内科学領域 教授 鈴木秀和先生

教育講演②:糖尿病・代謝疾患の克服と健康長寿の実現に向けて

司会：アットホーム表参道クリニック 宮尾益理子先生

講師：東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授 山内敏正先生

第 17 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会 (2021 年 6 月 5 日)

教育講演①:エイジングに伴う諸症状に対する漢方

司会：財団法人野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生

講師：東邦大学医学部東洋医学研究室 准教授 田中耕一郎先生

共催：株式会社ツムラ

教育講演②:温熱療法の効果と作用機序、新しい温熱受容体、そして新しい冷え症の研究

司会：財団法人野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生

講師：鹿児島大学 名誉教授 田中信行先生

第 18 回 NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会のお知らせ (2022 年 6 月 4 日)

教育講演①:医師と患者の良好な関係をつなぐアカデミック・ディテリングとは

—医薬品の基礎薬学特性を臨床に活かす試み—

司会：千葉大学 名誉教授(薬学研究院) 上野光一先生

講師：医療法人徳洲会 千葉西総合病院薬剤科 顧問 小茂田昌代先生

教育講演②:女性の機能性高体温症(心因性発熱)について

—新型コロナウイルス罹患後症状としての微熱も含めて—

司会：財団法人野中東皓会 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生

講師：国際医療福祉大学医学部心療内科学 主任教授 岡孝和先生

性差医療情報ネットワーク啓発運動 18年の歩み

市民公開講座 (2009年12月6日)

「伝統の知恵で健康美人」

… 脱メタボでスリムビューティー …

演者: 日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野 木下優子先生

市民公開講座 (2010年3月4日)

「妊婦の低栄養がもたらす子供への影響」

小さく産んで大きく育てるは間違い

演者: 早稲田大学胎生期エピジェネティクス制御研究所 教授 福岡秀興先生

女性専用クリニック受診者対象の運動指導

演者: 順天堂大学医学部付属浦安病院 循環器内科 中嶋佳子先生

市民公開講座 (2011年3月6日)

「あなたの身近にせまる子宮頸がん」

ワクチンと検診で予防しよう!

講師: 東京大学医学部付属病院 女性外科 病棟チーフ 教授 川名敬先生

市民公開講座 (2012年3月4日)

「中高年からの女性の健康・男性の健康」

西洋医学と東洋医学のよいとこどりで元気な人生を送りましょう

座長: 関東中央病院健康管理科部長・東大病院女性総合外来担当(非常勤講師) 宮尾益理子先生

講師: NAHW 理事長・静風荘病院特別顧問 天野恵子先生

市民公開講座 (2013年3月3日)

「貴女の睡眠、健康ですか？」

講師: 国家公務員共済会組合連合会 虎の門病院 成井浩司先生

市民公開講座 (2014年3月2日)

「中高年の目の病気」

加齢とともに増えてくる目の病気、白内障・緑内障・ドライアイ・加齢黄斑変性・糖尿病網膜症のお話

講師: 木村眼科 院長 木村内子先生

市民公開講座 (2015年3月1日)

「認知症が心配なあなたに

認知症にならないためには、そしてなったら」

講師: 順天堂東京江東高齢者医療センター副院長 一宮洋介先生

市民公開講座 (2016年3月6日)

「腰痛-脊柱管狭窄症

-腰部脊柱管狭窄症の病態、診断、治療-

～腰痛って何が原因?～」

講師: 東海大学医学部附属八王子病院 整形外科医長 山本至宏先生

市民公開講座 (2017年3月12日)

「備えあれば憂いなし。健康に老いるために知っておきたいフレイル対策」

講師: 関東中央病院 健康管理科部長 宮尾益理子先生

市民公開講座 (2018年3月11日)

「こんな漢方薬を知っていると便利です！」

講師: ひろこ漢方内科クリニック院長 高橋浩子先生

性差医療情報ネットワーク・東京支部 18年の歩み

東京支部第1回学術講演会

日時:2004年10月30日(日)

講演:精神疾患簡易構造化面接法(M.I.N.I.)について:女性患者における使用法

昭和大学医学部精神医学教室 助教授、昭和大学附属烏山病院副院長 大坪天平先生

共催:グラクソスミス株式会社東京支店

東京支部第2回学術講演会

日時:2005年4月24日(日)

講演:骨粗鬆症の病態と疫学 放射線影響研究所臨床研究部 藤原佐枝子先生

骨粗鬆症診断 東京都老人医療センター 細井孝之先生

骨粗鬆症の治療概論 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 竹内靖博先生

骨粗鬆症治療薬 SERM-実際の使い方-帝京大学医学部附属市原病院第三内科 岡崎亮先生

共催:中外製薬株式会社東京支店 日本イーライリリー株式会社東京支店

東京支部第3回学術講演会(漢方シリーズ1)

日時:2005年5月29日(日)

講演:女性外来スターターキット 日本大学医学部東洋医学講座医局長 木下優子先生

女性に頻用される生薬解説~芍薬・牡丹皮~ ツムラ医薬学術課

世界に発信する漢方 慶應義塾大学漢方医学講座 助教授 渡辺賢治先生

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第4回学術講演会

日時:2005年7月24日(日)

講演:女性の排尿障害 東京女子医大附属第二病院泌尿器科 巴ひかる先生

骨盤底筋体操:適応と指導 コンチネンスジャパン株式会社 新島礼子先生

今日の女性泌尿器科外来 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 近咲子様

がんばらない排泄介護について プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イースト・インク 堀内淳様

共催:帝人ファーマ株式会社

東京支部第5回学術講演会

日時:2005年10月2日(日)

講演:女性のうつの診断と治療 防衛医科大学校精神科学 教授 野村総一郎先生

女性医療者の「女性のうつ」への関わり方 野の花メンタルクリニック院長 野田順子先生

ランチョンセミナー:セロトニン症候群と離脱症状(GSK 学術部)

共催:グラクソスミスクリライン

東京支部第 6 回学術講演会

日時:2005 年 10 月 30 日(日)

講演:頭痛の診断と治療喜 喜多村脳神経クリニック 多村一孝先生

女性の慢性頭痛と女性ホルモンとの関係

神奈川歯科大学附属研修センター横浜クリニック内科学講座 助教授 五十嵐久佳先生

共催:ファイザー株式会社

東京支部第 7 回学術講演会(漢方シリーズ 2)

日時:2005 年 11 月 27 日(日)

講演:女性外来に必要不可欠な漢方治療

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

ランチョンセミナー:附子、麻黄、大棗、石膏について

共催:株式会社ツムラ東京支店 9

東京支部第 8 回学術講演会

日時:2006 年 4 月 23 日(日)

講演:エストロゲンその作用と機序 ソフィアレディスクリニック院長 佐藤芳昭先生

ランチョンセミナー:乳がんおよび前立腺がん細胞に及ぼす発酵大豆抽出物の効用とは

- ハーバード大学医学部最新研究より -

米国ハーバード大学医学部附属BIDMC客員研究員・

ニチモウ株式会社研究開発室主任研究員 潘偉軍医学博士

ランチョンセミナー:イソフラボン臨床応用にあたっての注意

フィアレディスクリニック院長 佐藤芳昭先生

共催:ニチモウ

東京支部第 9 回学術講演会(漢方シリーズ 3)

日時:2006 年 6 月 18 日(日)

講演:上半身の症状に対する漢方

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

ランチョンセミナー:食用にも使われる生薬、ウイキョウ、山薬

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 10 回学術講演会

日時:2006 年 7 月 30 日(日)

講演:パニック障害の診断と治療 赤坂クリニック理事長 貝谷久宣先生

強迫性障害の診断と治療

昭和大学医学部精神医学教室 助教授、昭和大学附属烏山病院副院長 大坪天平先生

共催:グラクソスミスクライン株式会社東京支店

東京支部第 11 回学術講演会

日時:2006 年 9 月 3 日(日)10:00-15:30

講演:女性のQOLとOC(低用量経口避妊薬) 日本家族計画協会常務理事 北村邦夫先生

更年期医療とHRT 東京医科歯科大学 名誉教授 麻生武志先生

共催:日本シエーリング株式会社

東京支部第 12 回学術講演会(漢方シリーズ 4)

日時:2006 年 11 月 25 日(土)

演題:骨盤、下肢の症状に対する漢方

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 13 回学術講演会

日時:2007 年 7 月 8 日(日)

講演:育児ストレス・産後うつ セントラルクリニック心療内科部長 辻内優子先生

Genital Herpes の病態と治療 東京大学医学部産科婦人科学 助教 川名敬先生

共催:グラクソスミスクライン株式会社

東京支部第 14 回学術講演会

日時:2008 年 1 月 27 日(日)

講演:女性の QOL を高める新しい子宮内避妊システム～IUS～ 愛育病院産婦人科部長 安達知子先生

新しい HRT 製剤ゲル製剤について 東京医科歯科大学 名誉教授 麻生武志先生

共催:バイエル薬品

東京支部第 15 回学術講演会(漢方シリーズ 5)

日時:2008 年 3 月 23 日(日)

講演:女性外来における漢方の実際:症例検討会

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

ランチョンセミナー:杏仁、桃仁、麻子仁、蘆カイ(アロエ)

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 16 回学術講演会

日時:2008 年 7 月 13 日(日)

講演:女性に及ぼすタバコの健康障害と女性への禁煙指導について

小張総合病院健診センター部長 小西明美先生

多彩なうつ病の診断と治療および電気痙攣療法について

医療法人社団すずき病院理事長 坂本博子先生

共催:ファイザー株式会社

東京支部第 17 回学術講演会

日時:2008 年 10 月 25 日(土)

講演:子宮内膜症最新の診断と治療 いえさか産婦人科医院副院長 家坂清子先生

共催:日本新薬株式会社ウィメンズヘルスケアチーム 19

東京支部第 18 回学術講演会(漢方シリーズ 6)

日時:2009 年 1 月 18 日(日)

講演:「女性と漢方」症例検討会、午後は腹診の実技指導を行います

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

ランチョンセミナー:温める生薬麻黄、桂皮、附子、乾姜、山椒

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 19 回学術講演会(漢方シリーズ 7)

日時:2010 年 1 月 24 日(日)10:00-15:00

講演:「女性と漢方」:症例検討会

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

ランチョンセミナー:補腎薬について牛車腎気丸、八味地黄丸、補気について人参(こうじん未など)

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 20 回学術講演会(漢方シリーズ 8)

日時:2011 年 3 月 6 日(日)

講演:漢方を使いたくなる不定愁訴の診方

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 21 回学術講演会(漢方シリーズ 9)

日時:2012 年 3 月 4 日(日)

講演:慢性ストレスに対する漢方治療

講師:日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野医局長 木下優子先生

共催:株式会社ツムラ東京支店

ビデオ配信第 1 回 (2011.8.28 ワキタスタジオ)

タイトル:性差医療の誕生

講師:天野恵子先生

東京支部第 22 回学術講演会

日時:2013 年 3 月 3 日(日) 10:00~12:30

演題:緩和ケア領域の漢方

講師:日本大学医学部付属板橋病院緩和ケア室室長 木下優子先生

東京支部第 23 回学術集会

日時:2013 年 12 月 15 日 10:30~14:30

演題:疾患としての肥満 ～アプローチの男女差を含めて～

講師:ほたるのセントラル内科 院長 内田大学先生

演題:自然な眠りを誘う睡眠薬「ロゼレム」はどうやって生まれたか?

～舞台裏で繰り広げられた創薬のドラマ～

講師:武田薬品工業株式会社 医薬研究本部化学研究所 所長 内川治氏

東京支部第 24 回学術講演会

日時:2014 年 3 月 2 日(日曜日) 10:00~12:30

演題:女性医療における漢方の使い方 痛みに対する処方

講師:日本大学医学部付属板橋病院 東洋医学学科外来医長 木下優子先生

東京支部第 25 回学術講演会

日時:2014 年 11 月 16 日(日曜日) 14:30~16:00

演題:女性ホルモン up-to-date エクオールおよび HRT について

講師:東京医科歯科大学 名誉教授 麻生武志先生

共催:大塚製薬株式会社

東京支部第 26 回学術講演会

日時:2015 年 3 月 1 日(日曜日)10:00 - 12:30

演題:「困った時の一手 ～脾胃を重視する～」

講師:成城漢方内科クリニック 院長 盛岡頼子先生

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部 動画配信【妊娠・出産に伴うカルシウム代謝と骨の管理 (岡崎亮先生)】

東京支部第 27 回学術講演会

日時:2015 年 11 月 1 日(日) 15:10~16:10

演題:「アスペルガー症候群と、その対応に苦悩する家族のカサンドラ症候群について」

講師:どんぐり発達クリニック 院長 宮尾益知先生

東京支部第 28 回学術講演会

日時:2016 年 3 月 6 日(日) 10:00~13:00

演題:「日常の診療より ～気剤を使いこなす～」

講師:成城漢方内科クリニック 院長 盛岡頼子先生

共催:株式会社ツムラ東京支店

東京支部第 29 回学術講演会

日時:2016 年 10 月 30 日(日) 15:10~16:10

演題:「アスタキサンチンによる先制医療の展開」

講師:金沢大学脳・肝インターフェースメディシン研究センター准教授 太田嗣人先生

東京支部第 30 回学術講演会

日時:2017 年 3 月 12 日(日) 10:00~13:00

演題:「婦人科領域における漢方治療 ～気血水を考える～」

講師:表参道福澤クリニック 副院長 福澤素子先生

東京支部第 31 回学術講演会

日時: 2018 年 3 月 11 日(日) 10:00~13:00

演題:「不妊治療を支える漢方処方」

講師: 医療法人 佳洛菴 志馬クリニック四條烏丸(京都)院長

京都大学医学部付属病院 女性漢方外来 志馬 千佳 先生

性差医療情報ネットワーク・九州支部 12年の歩み

第1回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

日時:2010年5月29日(土)

講演:副作用発現における性差

～人間ドッグ受診者5,000名の副作用調査と医療用漢方製剤の安全性試験に基づく検討

講師:熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療学 教授 中川和子先生

特別講演:性差医療における現状と展望

講師:性差医療情報ネットワーク理事長 静風荘病院 特別顧問 天野恵子先生

共催:株式会社ツムラ

第2回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

日時:2011年5月21日(土)

講演①:女性外来と漢方治療

大分大学医学部臨床検査診断学 診療教授 中川幹子先生

講演②:女性の狭心痛の特徴

佐賀大学医学部循環器内科 准教授 河野宏明先生

特別講演:アンチエイジングのすすめ ～男女の良いところ取りを考える～

同志社大学大学院生命科学研究科アンチエイジングリサーチセンター 教授 米井嘉一先生

共催:株式会社ツムラ

第3回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

日時:2012年5月26日(土)

講演①:循環器領域における性差医療 -男と女どちらのハートが傷つきやすい-

鹿児島大学大学院循環器・呼吸器・代謝内科学 特任助教 嘉川亜希子先生

講演②:女性と漢方治療

九州大学病院総合診療科 診療講師 貝沼茂三郎先生

特別講演:性差の視点から健康管理を考える

日本赤十字社医療センター健康管理部部長 折津政江先生

共催:株式会社ツムラ

第4回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

日時:2013年5月11日(土)

特別講演:更年期障害におけるリハビリメイクの効果

フェイシャルセラピスト かづきれいこ先生

特別講演:中高年女性のための安全なホルモン補充療法(HRT) ホルモン補充療法(HRT)ガイドライン 2012

野崎ウイメンズクリニック 院長 野崎雅裕先生

共催:久光製薬株式会社

第 5 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

日時:2014 年 5 月 24 日(土)

講演①:女性の動脈硬化症と骨粗鬆症の接点

2大学医学部保健学科 教授 河野宏明先生

講演②:男と女で違う高齢者の医療と介護

医療法人社団清心会春日クリニック院長 清田真由美先生

講演③:女性に多いアルツハイマー病と骨粗鬆症-早期診断・治療・地域連携などトータルケアについて-

大分大学医学部総合内科・総合診療科 講師 吉岩あおい先生

共催:第一三共株式会社

第 6 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

テーマ:骨の健康から全身管理を考える

日時:2015 年 5 月 30 日(土)

場所:熊本市医師会館(2 階研修室)

講演①:女性の動脈硬化～LDL 高値よりリノール酸高値がリスク～

医療法人エコークリニック院長 田中裕幸先生

講演②:性ホルモンと循環器疾患

大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学 中川幹子先生

講演③:健康寿命延伸を目指した骨粗鬆症診療～生活習慣病との関わり～

島根大学医学部付属病院内分泌代謝内科

共催:第一三共株式会社

第 7 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州セミナー

テーマ:早期診断に役立つ性差医療情報

日時:2016 年 5 月 14 日(土) 16:45～19:30

場所:熊本市医師会館(2 階研修室)

講演①:歯科領域から診た性差医療

九州歯科大学 松木貴彦先生

講演②:女性の心疾患の兆候を見逃さないために

鹿児島大学医学部 心臓血管・高血圧内科学/上山病院 嘉川亜希子先生

講演③:日本女性に多い災害後の静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)と遠隔期合併症
～新潟県とモデナ県(イタリア)の地震災害の比較から～

新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸循環外科学分野 講師 榛沢和彦先生

追加報告会:熊本地震における被災状況と今後の医療活動

榛沢和彦先生、河野宏明先生(熊本大学医学部教授)、清田真由美先生

共催:第一三共株式会社

第 8 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州支部セミナー

テーマ:女性診療のコツ

日時:2017 年 6 月 17 日(土)17:45~20:00

会場:TKP ガーデンシティ鹿児島中央 3 階「薩摩ホール」

講演①:不定愁訴の診療~心療内科医のコツ~

九州大学 心療内科/たかやま内科医院 院長 雨宮直子先生

講演②:生活習慣病の診療~地域かかりつけ医のコツ~

春日クリニック 院長 清田真由美先生

講演③:心・血管病の診療~大学教授のコツ~

鹿児島大学大学院 心臓血管・高血圧内科学 教授 大石充先生

共催:興和創薬株式会社

後援:鹿児島市医師会

第 9 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州支部セミナー

テーマ:男と女の違いを理解! あなたの健康を考える講演会

日時:2018 年 6 月 1 日(金)19:00~20:45

場所:アクロス福岡会議室 607 号

講演①:女性のハートは傷つきやすい ~心臓と血管の性差医療~

鹿児島大学心臓血管・高血圧内科 嘉川亜希子先生

講演②:ココロと肥満 男性と女性は違う? ~リバウンドを防ぐ認知行動療法~

九州大学病院心療内科 特任講師 野崎剛弘先生

第 10 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州支部セミナー

テーマ:女性診療のコツ

日時:2019 年 6 月 15 日(土) 17:00~18:20

場所:ホテル メルパルク KUMAMOTO 2 階「金峰」

特別講演:循環器領域における性差医学・医療

東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座 教授 下川 宏明 先生

第 11 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州支部セミナー

テーマ:女性のトータルヘルスケア研究会

日時:2019 年 12 月 14 日(土)16:00~18:00

場所:熊本市医師会館 2 階 研究室

講演①:今さら聞けない心電図

熊本大学大学院 生命科学部 環境社会医学部門 河野宏明先生

講演②:女性の血栓関連疾患について

久留米大学 医学部内科学講座 心臓・血管内科部門 福本義弘先生

第 12 回性差医療情報ネットワーク(NAHW)九州支部セミナー

日時:2022 年 11 月 15 日(金)19:00~20:20

配信:Zoom

一般講演:Brugada 症候群における狭縦隔の影響

大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 石井悠海先生

特別講演:心房細動 診断と治療 ~性差の影響も含めて~

広島大学病院 循環器内科 教授 中野由紀子先生

共催:第一三共株式会社

後援:大分県医師会